

News Release



2023年10月26日
NITE (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構
北 陸 支 所

シーズン初めの石油ストーブ安全大作戦

～5つのポイントで火災事故を防ごう！～

1. 事故の発生状況

2018年度から2022年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で石油ストーブ等の事故が13件^{※2}ありました。

(1) 県別の年別事故発生件数（表1）

表1 石油ストーブ等の製品事故の県別年別事故発生件数（2018～2022年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2018年度		1	1	1	3
2019年度		1	0	0	1
2020年度		1	1	0	2
2021年度		1	1	0	2
2022年度		1	4	0	5
合 計	事故件数	5	7	1	13
	火災件数	[5]	[7]	[1]	[13]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数 (表 2)

表 2 石油ストーブ等の製品事故の県別被害状況別事故発生件数 (2018~2022 年度)

被害状況※3		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	1	0	1
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	1	0	0	1
物的被害	拡大被害	4	5	1	10
	製品破損	0	1	0	1
被害なし		0	0	0	0
合計		5	7	1	13

※3：人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複 カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 石油ストーブ等の主な製品事故事例

(1) 給油口ふたの閉め忘れ及び締め付け不良などにより漏れた灯油に引火した事例

・2019年3月（福井県、女性、80歳以上、拡大被害）

【事故の内容】

石油ファンヒーターのカートリッジタンクに給油後、本体に戻す際に、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

使用者が、給油時消火装置を搭載していない当該製品を消火せずにカートリッジタンクで給油した際に灯油がこぼれて出火したものと考えられる。

(2) ガソリンの誤給油により出火した事例

・2019年4月（富山県、男性、60歳代、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の石油ファンヒーターから出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

カートリッジタンク内の残油からガソリンが検知されたことから、使用者が当該製品にガソリンを誤給油したため、異常燃焼を起こし、火災に至ったものと考えられる。

(3) スプレー缶の近接により出火した事例

・2022年12月（石川県、女性、50歳代、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の石油ファンヒーター付近から異音が生じて出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

当該製品に異常は認められなかったことから、付近にあったスプレー缶から噴出した可燃性ガスに引火したものと考えられる。

(本件に関する問い合わせ先)
〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北陸支所 担当者 吉田、塚谷
電話 : 076-231-0435

以上